

令和4年10月20日

WRMA 講習 in 牧之原

- 日 付：令和4年10月11日（火）、12日（水）
- 時 間：9：00～16：00
- 場 所：地頭方海浜公園
- 参加者：WRMA（今西理事長、石橋）、USPR（野口、増田、河原崎、鷺坂）
静岡県消防局隊員 15 名

水上オートバイレスキューの手法を資格化し、全国で講習会を実施しながら広めている一般社団法人ウォーターリスクマネジメント協会（WRMA）の講習会が牧之原市地頭方海浜公園において実施された。私たちも WRMA の地元メンバーとして講習会のお手伝いとして参加した。

静岡 PWC レスキュー連合体として活動している、野口氏は WRMA インストラクターとして、御前崎渚の交番は WRMA プロフェッショナルオペレーターとして参加者の指導に当たり、他メンバーは講習会サポートとして携わった。参加者は静岡県消防局（牧之原署および海難救助隊所属）の隊員 15 名ほど。2 日間のプログラムでレスキュー手法 8 種を学んだ。

初日は比較的穏やかな天候、海も静かな状況の中、レベル1のレスキュー手法 4 種を学び、実際に水上オートバイで体験、習得をした。牧之原消防署に配備された水上オートバイと WRMA 艇 2 艇、計 3 艇にてプログラムを実施したが、それぞれの艇に分かれて反復練習を行い、一日の終わり頃には操船にも慣れて、初日のプログラムを終了した。

2 日目は東風が強く吹き、海面も荒れている状況となった。この日はレベル2の艇を反転させてのレスキュー手法の習得プログラム。波が常に押し寄せてくるような状況の中、苦勞しながら操船し、技術習得のプログラムを遂行していった。状況に対応できず、落水する受講者も多く、大変な状況ではあったが、事故もなく2日間の講習を終えることができた。

講習の最後に WRMA 代表の今西氏も述べていたが、資格を取得して終わりではなく、そこからがスタート。技術の向上にも努め、ぜひ WRMA の現場活動にも参加してほしいとのこと。現場での活動が技術向上には欠かせない、またそれによって人も育つということを改めて感じる事ができた貴重な機会であった。

